

令和7年度第2回地方独立行政法人機構評価委員会 議事要旨

日 時 令和7年8月12日(火) 16時00分から17時00分

場 所 加古川中央市民病院 3階 会議室

出席者 委 員 4名
加古川市民病院機構 12名
事務局 7名

会議次第 1. 開会
2. 議題
 (1) 令和6年度業務実績に関する小項目評価について
 (2) 中期目標期間業務実績見込に関する評価について
 (3) 第4期中期目標(案)について
3. 閉会

1. 開会	開会の宣言 ＜委員長あいさつ＞
2. 議題	（１）令和６年度業務実績に関する小項目評価について 事前に提出いただいた各委員の評価について、評価が異なる小項目を中心に質疑及び議論を行い、委員会としての評価を決定していくことを委員長から各委員へ説明した。 【項目】1-1-(3)感染症対策の強化 法人自己評価：「４」 委員事前評価：「４」（３人）、「５」（１人）⇒ 評価委員会評価：「４」 （委員） 年度計画を十分に達成しているため「５」とした。継続的に取り組んでほしい。 （委員） 「５」の評価には届かないが、当該圏域の新興感染症対策の充実を図ったことは評価できる。 【項目】1-2-(4)周産期医療の充実 法人自己評価：「４」 委員事前評価：「４」（３人）、「５」（１人）⇒ 評価委員会評価：「４」 （委員） 総合周産期母子医療センター整備は未達だが、他の項目は達成しているため「５」とした。 （委員） 近隣病院を含め産婦人科医・小児科医を十分に確保できない現状があり、長期的には問題が顕在化する可能性がある。 （２）中期目標期間業務実績見込に関する評価について 事前に提出いただいた各委員の評価について、評価が異なる小項目を中心に質疑及び議論を行い、委員会としての評価を決定していくことを委員長から各委員へ説明があった。 【項目】1-2-(2)循環器疾患にかかる医療の充実 法人自己評価：「４」 委員事前評価：「４」（３人）、「５」（１人）⇒ 評価委員会評価：「４」 （委員） 高度専門医療で循環器疾患の症例数や達成率については、有病者が少なくなっているためと認識しており、東播磨圏域の医療機関として加古川中央市民病院は非常に重要な存在である。中期目標期間における活動をみても、心不全地域連携パスの確立や緩和ケアの推進などの取組を評価する。 （委員） 通院治療や予防が功を奏し、各種目標指数の件数の低減に繋がったと評価できる。

	また、治療に使用する器具の進化に伴って手術の頻度が少なくなっていると考える。24 時間 365 日体制での急性期循環器症例の受入体制を維持したことは高く評価するが、全体で見たときには「4」でよいと考える。 (委員) 症例数減による各種目標指数の達成率減については理解できるところもあり、客観的な数値による評価は難しい面もある。達成率をもとに評価すれば「4」が妥当であると考える。 (機構) 委員の発言のとおり、症例は全国的に減少傾向にあると思う。 ステント治療において、再狭窄については別件数として計上されていたが、再狭窄しづらいステントを使用し始めたことで件数が減となった背景がある。 冠動脈インターベーション件数は減少傾向であるものの、経皮的動脈弁留置術(Tavi)やMitraClipの件数は増加傾向である。 末梢血管インターベーション件数については、担当医師が外部医療機関へ異動したことに起因して件数が減少した。現在は担当する医師を改めて決めて対処している。 活動指標のうち、Door to Balloon timeの減少は一定程度チーム医療が充実してきている証左であると認識している。 【項目】1-2-(4) 周産期医療の充実 法人自己評価：「4」 委員事前評価：「4」(1人)、「5」(3人) ⇒ 評価委員会評価：「5」 (委員) 新型コロナウイルス感染症が拡大するなか、圏域外を含めて24時間365日にわたりハイリスク妊産婦などを受け入れたことを高く評価する。 (委員) 分娩件数については、まだ伸びる余地があると判断し「4」とした。 【項目】2-2-(2) 働き方改革の推進 法人自己評価：「4」 委員事前評価：「4」(3人)、「5」(1人) ⇒ 評価委員会評価：「4」 (委員) 中期計画の目標をすべて達成しており、医師の働き方改革にも十分に対応している点を高く評価し「5」とした。 (委員) 医師の働き方改革の対応を今後も推進してほしい期待も付して「4」とした。 (委員) 長時間勤務実績を見ると、医師の勤務時間のみ微増しているため「4」とした。
--	--

	【項目】3-2 収入の確保及び費用の最適化 法人自己評価：「5」 委員事前評価：「4」（2人）、「5」（2人）⇒ 評価委員会評価：「5」 （委員） コロナ禍では、診療報酬の改定やコロナ罹患者による病床占有など大きな変化があった期間であったが高い達成率を維持している。また、材料等の値上がりが想像以上のものであった。そういった状況下で中期目標の達成に向けて取り組んだことを高く評価し「5」とした。 （委員） 診療材料費比率、医療品費比率、経費比率/対医療収益の部分が目標へ 10%届いていない。環境要因もあったはずだが、引き続き努力してほしいという思いを付して「4」とした。 （委員） 物価が高騰し致し方ない部分はあるものの、診療材料費比率など、目標との乖離があると判断し「4」とした。 【項目】4-1-(2) 市施策への協力 法人自己評価：「3」 委員事前評価：「3」（2人）、「4」（2人）⇒ 評価委員会評価：「4」 （委員） 市民へのワクチン接種事業に協力したことについて、多くの市民の助けになったことを評価し「4」とした。 （委員） 数値目標がない項目であり、法人の自己評価を尊重し「3」とした。 （3）第4期中期目標（案）について 第4期中期目標（案）について、資料4・5に基づき、事務局より説明を行った。
4. 閉会	<委員あいさつ>